



小泉 誠
Makoto Koizumi

家具デザイナー

デザイナー原兆英と原成光に師事。1990年Koizumi Studio設立。2003年にデザインを伝える場として「こいずみ道具店」を開設。建築から箸置きまで生活に関わる全てのデザインを手がけ、現在は日本全国のものづくりの現場を駆け回り地域との協働を続けている。2015年には「一般社団法人わざわ座」を立ち上げ、手仕事の復権を目指す活動を開始。武蔵野美術大学名誉教授。2012年毎日デザイン賞受賞。2015年日本クラフト展大賞。

<http://www.koizumi-studio.jp/>

Furniture Designer

Studied under designers Choei Hara and Shigemitsu Hara. Established Koizumi Studio in 1990. In 2003, he opened Koizumi Tool Store as a place to convey his designs. He has designed everything found in daily life, from architecture to chopstick rests. At present, he is traveling across Japan to visit manufacturing sites and continue his collaboration with local communities. In 2015, he launched the general incorporated association Wazawaza and began working to restore handcrafts. Professor Emeritus at Musashino Art University. Winner of the Mainichi Design Award in 2012 and Grand Prize of the Japan Crafts Exhibition in 2015.



株式会社タカタレムノス

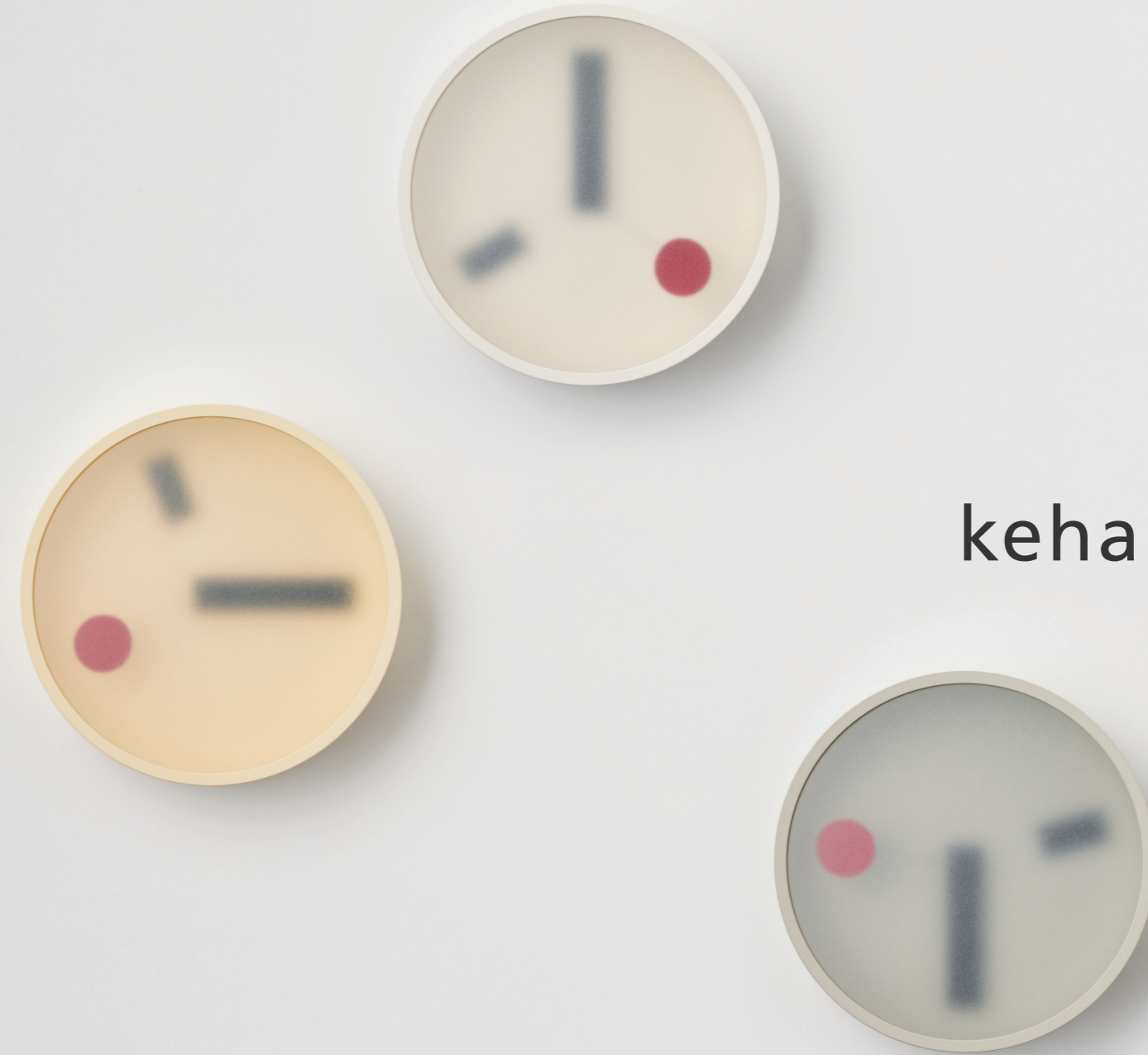
東京ショールーム・オフィス / 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-7-14 シャノワール文京 1F TEL : 03-5981-8120 FAX : 03-5981-8365

本社 / 〒933-0957 富山県高岡市早川 511 TEL : 0766-24-5731 FAX : 0766-22-8071

www.lemnos.jp info@lemnos.jp

※本体写真と実際の商品との色は印刷の関係上、若干異なる場合がありますので、予めご了承下さい。※無断転写・無断複写を禁じます。Printed in Japan ©2022 TAKATA Lemnos Inc. All rights reserved.

Photo by Ryoukan Abe



kehai
Designed by Makoto Koizumi
Made in Japan by Lemnos Inc.

時計の存在が嫌なときがある。

そして時間の存在も……。

だから少しは曖昧な時の気配がちょうど良い。

小泉誠



kehai ケハイ

少し曖昧な時の気配をカタチにしたkehai。
2004年にデザインされたこの時計を復刻しました。

ぼんやりと見える針の動きが半透明のガラス越しに曖昧な時の気配を柔らかく伝えてくれます。
色は空間に馴染み、より気配として佇むよう壁の素材に合わせた3色で、秒針の赤い点がゆっくりと回る様はオブジェのようです。

薄く繊細ながら強靱なアルミ枠体は casting の技術が活かされ、その製造を高田製作所がおこなっています。



KM22-01 WH
漆喰
4515030100720



KM22-01 YE
木・土壁
4515030100737



KM22-01 GY
コンクリート
4515030100744

KM22-01
φ130×d55mm 295g アルミニウム、PP (ポリプロピレン)、ガラス
スリーブセコンド ¥11,000 (本体価格¥10,000)

